

教育事務所発

〈わたしの学校・ぼくらの活動〉

県南教育事務所

〒961 白河市昭和町 269
TEL (0248) 23-1663



▲毎年多くの人出でにぎわう白河ダルマ市(2月11日)

管内の各学校では創意ある教育活動の充実に努めています。その中で、特に地域における幼児教育センター的役割や生徒指導の研究を進めている幼稚園や学校を紹介します。また、地域をあげてスポーツの振興に力を入れている教育委員会を紹介します。

地域に開かれた

矢吹町立矢吹幼稚園

本園は、「幼稚園における家庭・地域等連携事業（トリオプラン）」の文部省研究委託を受け、「地域における児童教育センター的役割」について研究的に取り組んできた。

埠城や家庭と幼稚園が一体となって、児童を育てる試みとして、主に保

育参加（マザーズ・ティチャード）をとりあげた。昨年度は自由参加にしたので、はじめは保護者の申込みも少なかつたが、実施してその楽しさが母親同士の間で広まり、次第にふえて三〇名にもなった。

本年度は全員対象として、六月と
十月に保育参加を実施した。

保育参加を子どもたちが十分好きで遊びに取り組んでいる。十時に時間を見つけて、マザーズ・ティチャーワークshopが自然に子どもたちの中に入れるるように配慮した。あるマザーズ・ティチャーワークshopは、「大勢の子どもたちでも、みんな一人ひとり違うのだと改



マザーズ・ティチャード 紙芝居

物とのふれあいで
豊かな人間性を

白河第一小学校では、休み時間になると、子どもたちが中庭に集まつてきて、二ワトリやウサギたちと遊ぶ姿が見られます。中庭は、二つの校舎と通路で囲まれていて、上履きのままで活動ができる、子どもたちが大好きな場所の一つです。そこにら最優秀校を選ばれた記念に建てた飼育小屋とクローバー畑、たくさん魚たちが泳ぐ池や小鳥小屋があり、子どもたちが、動物たちと自由にふれあうことができるのです。生活科はもちろん、休み時間も子どもたちは、動物たちと遊んでいます。一年生や二年生が飼育小屋に入つてニワトリに餌をあげます。そして、うさぎを小屋から連れ出してすぐ隣のクローバー畑に放し、ウサギがおいしそうにクローバーの葉を食べるのを寝ころんでながめたり、ウサギと追いかけっこをしたりしています。このところ、ウサギの数が増えた、餌集めに苦労するようになります。した。飼育栽培委員会の子どもたちと一、二年生が協力して全校生に呼びかけ、何とか自分たちで餌集めが